令和8年度　教育課程全体計画　　吹田市立南山田小学校

学校教育目標

「心を磨き、志を育む」～その根を培う～

家庭・地域の実態

●30 学級を超える大規模校である。
●地域行事への参加児童が増えるよう、学校・地域・保護者の連携を密にして行事への参加を呼び掛けている。

児童の実態

●学習活動や学校行事に一生懸命に取り組むことができるが、自主的・自発的な活動として取り組むことが課題である。
●他者に対し、やさしさはあるが、自分の思いや気持ちを相手に伝えることがまだ課題である子もいる。

社会人基礎力の育成

●前に踏み出す力
　・主体性
　・粘り強さ
●考え抜く力
　・基礎基本の徹底
　・自学自習力
●チームで働く力
　・コミュニケーション力

時代や社会の要請

国際化、情報化に対応する力の育成

●日本国憲法　●小学校学習指導要領
●教育基本法　●教育振興基本計画
●学校教育法　●文部科学省施策

教育方針

●進んで協力し実行力のある子どもを育てる
●意欲的・主体的に学ぶ子どもを育てる
●違いを認め合い、豊かな人間関係を築く子どもを育てる
●自尊感情と豊かな感性を持ち、たくましく生きる子どもを育てる

目指す子ども像

みな小っこ

自ら学び考える
なかまを思いやる
自分を大切にする
心豊かな　みな小っ子

重点目標

「成長を実感！」 ～ 3つのステップ ～

《ホップ》目を向ける 《ステップ》やってみる 《ジャンプ》ふりかえる

授業が楽しい！	学校が安心！	毎日が面白い！
「わかった！」「できた！」が実感できる	「自分も友だちも大事！」が実感できる	「やってみたい！」が湧いてくる

教育課程編成方針

○ 学校教育目標を具現するために、教育方針に則り、児童が自主的・自発的・創造的に学習活動や学校生活に取り組む。資質・能力・態度を育てることを目指した教育課程を編成する。
○ 「生きる力」の理念に基づき、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和の取れた教育を進めるよう編成する。
○ 学んだことを人生や社会に生かそうとする人間性、社会や生活で生きる知識・技能の習得と、未知の状況に対応できる。思考力・判断力・表現力等の能力のバランスを重視して編成する。
○ 各教科等の相互の関連を図った指導計画を作成し、学校力を高め、学習活動を充実させる。

推進体制

○推進組織　カリキュラム委員会
　　学力向上委員会
　　人権委員会
　　生活委員会

○具体的取組
1. 四委員会(カリキュラム・学力向上・人権・生活委員会)が互いに連携しながら、学校生活目標の具現に向け取り組みを進める。
2. 全体研修・学年研修・研究授業などを通じ、教職員の資質向上と共通理解を図る。

人権教育

平和を願い、偏見や差別やいじめを許さず、仲間の思いをしっかり受け止められる児童を育成する。

道徳教育

・目標に向かって努力し、主体的に行動する子どもを育成する。
・豊かな感性と思いやりの心を持ち、助け合う子供を育成する。

教科指導

・学習指導要領に基づき、ねらいに迫る授業づくりに努める。
・話し合い活動の中で、主体的に問題解決を図ろうとする児童を育てる。

総合的な学習時間

・一人ひとりの力を伸ばすために、教育環境を生かし、自ら進んで学ぶ意欲を育てる。

外国語活動

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

特別活動

集団活動を通じて協力してよりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てる。

生活指導

安全で楽しい学校生活を送れるよう、自律的にきまりを守る児童の育成を進める。